

有効成分レチノールによるしわを改善する効能効果の承認を日本で初めて取得 —9週間で「深い」しわを改善—

資生堂は「しわを改善する」効能効果の承認を厚生労働省から受けました。レチノールを有効成分とした新しい製品(以下、本製品)は、9週間の使用でシワグレード(※1)4レベルの深いしわを改善する有効性が認められました。

資生堂は約30年間にわたるレチノール研究の基盤技術のもと、日本で唯一、医薬部外品の有効成分レチノールを配合した製品を製造販売できるメーカーとして、今後更なるアンチエイジング(抗老化)領域の研究を進め、スキンケア製品に応用していきます。

レチノールによるしわ改善効果の有効性

日本化粧品学会が策定した「新規効能取得のための抗シワ製品評価ガイドライン」にしたがい、目尻に浅いしわからやや深いしわが認められる健常な日本人女性(年齢37歳~54歳、平均年齢46歳)で臨床試験を行いました。「有効成分レチノールを配合した本製品」と「レチノール無配合品」を9週間使用いただき、しわ改善効果を皮膚科専門医による判定および機器による解析を行いました。

本製品の9週間使用後には目尻の線状の深いしわ、目周りのちりめん状のしわが顕著に改善しました(図1)。機器による解析から本製品は無配合品に比べてしわが減少しており(図2)、しわ部分(緑色)の3次元画像からも顕著な減少が認められました(図3)。

また、実効感についてもアンケートで検証した結果、本製品にしわの改善を実感することが認められました。

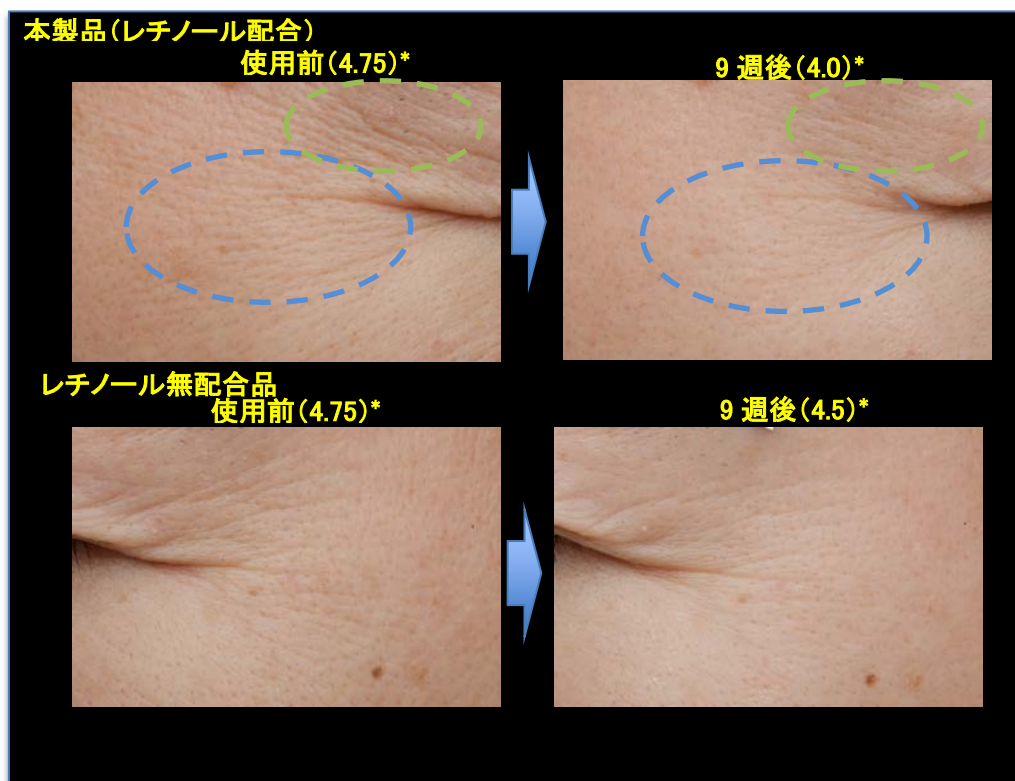
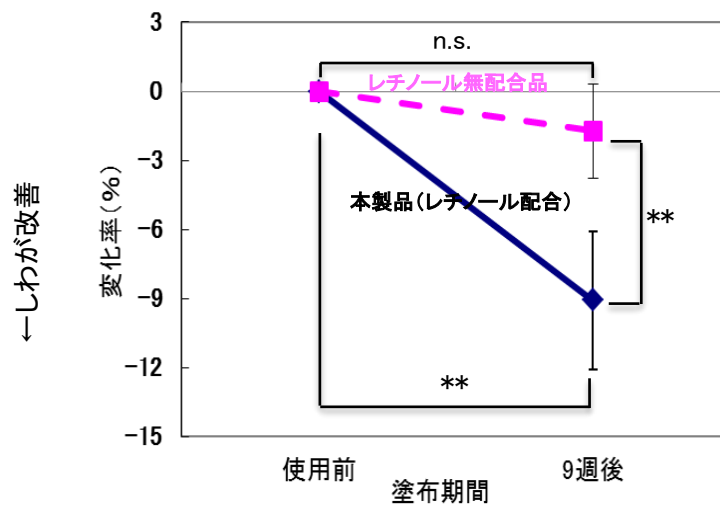


図1 本製品のしわ改善効果代表例(53歳) * ()内の数値はシワグレード判定



平均値±標準誤差, N=77, 対応のある t-検定(両側検定) n.s.; 有意差無し, **:p<0.01

図2 測定機器によるしわ面積率の変化

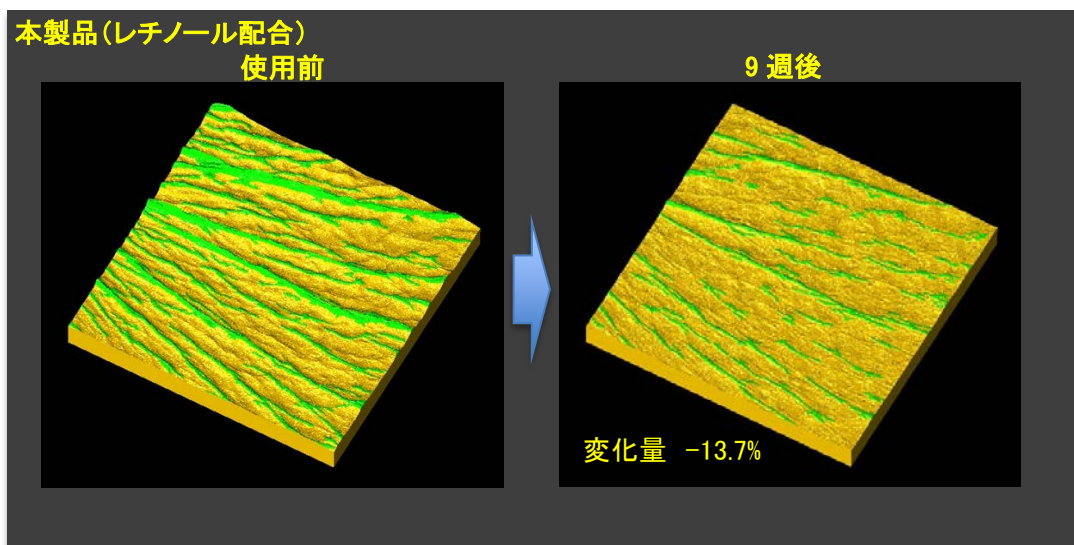


図3 3次元画像解析によるしわ改善効果代表例

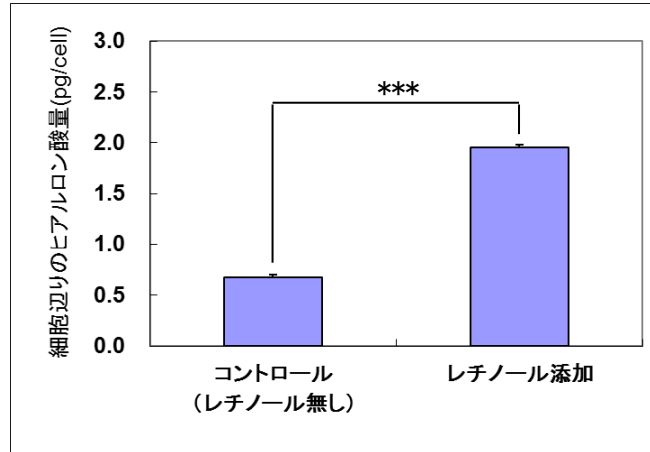
◆緑色はしわ部位を表しています

レチノールの安定化技術

レチノールはこれまで肌あれの有効成分として医薬部外品に配合してきましたが、レチノールは熱、光、酸素に対して弱く、非常に不安定な成分です。資生堂では長年の研究で培った製剤化技術を応用して、レチノールを分解させることなく安定的に配合し、製造することに成功し、1993年に発売しました。更にレチノール製剤だけに使用する独自の容器も開発しています。このような製剤化技術、容器開発により安定性を担保し、レチノールを医薬部外品・有効成分として配合することが国内で唯一認められています。

作用メカニズム

レチノールは培養したヒトの表皮角化細胞でヒアルロン酸の産生を顕著に促進します(図4)。ヒアルロン酸は水分保持や皮膚の弾力性の維持などに関与し、また加齢とともに減少することが知られている重要な成分です。レチノールはヒアルロン酸の産生を増加させ皮膚に柔軟性を与えて、しわを改善します。



平均値±標準誤差 2標本 t-検定(両側検定) ***:p<0.001

図4 レチノールのヒアルロン酸産生促進作用

(※1)シワグレード(標準):日本化粧品学会策定のガイドラインに基づく

